


多文化共生社会を考える

ねらい：多文化共生社会で大切なことは何かを考えよう。

対象：中学生～

時間：50分

準備するもの：パワーポイント、動画、役割カード

過程時間	学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入	○動画を視聴 5人に1人が外国人労働者の町を紹介。	・本町では、身近ではない外国人労働者の実態を理解させる。	動画 PPT 役割カード
展開	○本部町をより良いまちにする案で「海外の子どものための学校を作る」と書いた生徒から「なぜそれを書いたか」を発表させる。 ○サーバーディ島・カチコチ島・ブトモー島の特徴をPPTで視聴する。 ○ 役割カード1 ・サーバーディ人・カチコチ人・ブトモー人互いに独自の挨拶を交わす。 ○文化の違う人と挨拶を交わしてどのように感じたか。ワークシートに記入する。 ○ 役割カード2 ブトモー教育委員会 サーバイディ人代表者 カチコチ人代表 ブトモー学校校長 ・ブトモー島に来たサーバイディ人・カチコチ人の子どもが通う学校について様々な立場から意見を主張し、何がベストかをグループで考える。 ○「多文化共生社会」の観点か	・それぞれの島の人たちの特徴をつかむ。 ・それぞれの役割カードから自身の民族の挨拶の特徴を理解する。 ・違う人種3人とあいさつを交わすよう指示する。 ・役割カードを見ながら、それぞれの立場を発表させる。 ・「多文化共生社会」の観点から	役割カード  どの方法を優先させた方がよいかを班で考えている様子。

ま と め	ら、どの方法を優先させるか 9つ（資料参照）の内容に グループで優先順位をつける。 ○多文化共生社会を実現する ために必要なことをグループ で考える。	考えられるように画面には今日の めあてを残しておく。 ・グループで考えることで共感的 学びにつなげる。	
-------------	--	--	--

